



# — 裁判員裁判経験者からのメッセージをお届けします！ —

裁判員制度

福岡地方裁判所では、令和6年2月28日、裁判員裁判経験者との意見交換会を開催しました。今回は19歳から30歳代で経験された方々に集まっていただき、福岡市内の大学生13名に意見交換会を傍聴していただきました。

参加者：経験者8名 裁判官1名 検察官1名 弁護士1名



20代学生

何も知らなくてできるのか不安でしたが、候補者名簿に載ったという通知に同封されていた裁判員制度Q&Aを読んだら不安は解消しました。裁判に参加して新しい世界を知ることができましたし、何も知らずに参加してもとてもよい経験になるので、参加する人が増えたらいいと思います。参加後にメンタルヘルスのカウンセリングを利用できるのもいいですね。



30代

裁判で提出された検察官のメモは分かりやすく、事件の関係者をすぐ覚えることができました。出した結論は自分一人で責任を負うものではなく、みんなでしっかりと考え話し合っているものなので、そんなに重いこととして捉える必要はないのかなと思います。とても貴重な経験ができました。



30代社員

裁判員に選ばれた時は「やった！」という思いと「できるのかなあ、変なこと言わないかなあ」という思いが半々でした。初日は聞きなれない法律用語に疲れましたが、3日目くらいには少し慣れ、最終日には穏やかな気持ちで終わることができました。普段は接することがない人々と話ができるし、社会で起こっていることやニュースの見方が変わりました。



28歳公務員

裁判所から郵便が届いた時はびっくりしました。裁判所の封筒は文字をもっとポップな書体にしてはどうでしょうか。裁判官の隣に座って見る法廷の景色や緊張感は新鮮で、被告人の表情をリアルに見ながら直接質問ができたのは貴重な体験でした。様々な職業、年齢の方からの思いもよらない意見が聴けたり、自分の意見も判決に反映され、裁判員制度の特徴を生かした充実した議論ができたと思います。



21歳学生

社会科の教員を目指して勉強中なので、裁判員に選ばれた時は、子どもたちに授業で教えることを実際に自分で経験できるんだと思って嬉しかったです。話し合いでは自分の意見を出せたり、納得いくまで充実した議論ができました。大学の授業や試験には影響が出たものの、心から参加してよかったと思っています。裁判に参加するため授業や試験に出られなくなった場合には、裁判所から大学側に何らかの配慮を求めてもらえるといいなと思います。



30代

選任期日のお知らせが届いた時は、できればやってみたくてワクワクしました。子育てで大変な時期でしたが、家族の協力の下参加しました。自分が出した意見についてみんなで掘り下げてくれたり、反対意見も出たりして議論するのは面白かったです。30代での経験でしたが、20代で経験できればもっと違う感じ方ができたのではないかと思います。レアな経験ですので自分の子にもその経験を教えたいと思います。



20代学生

抽選前に裁判所へ電話した際にとても丁寧に対応してもらえ、こんなに手厚くサポートしてくれるなら素人の自分でも大丈夫じゃないかなと思いました。法律用語は裁判官が説明してくれるし、検察官のメモにも用語の解説が書いてあったので、分かりにくいとか、難しかったという印象はありません。裁判を通して自分なりの考えを持てるようになったし、よい刺激になると思いますので、大学生のみなさんも機会があればぜひ参加してください。



19歳学生

小学生の時に授業で裁判員制度を学び、一度はやってみたくて思っていたのですが、こんなに早く経験できるとは思っていませんでした。周囲の人の年齢差があったので自分は遠慮した方がいいのかなという思いもあったのですが、私の意見にもみんな真剣に耳を傾けてくれました。視野や考え方が広がり、10代で経験できてよかったと思います。裁判官も検察官も弁護士もみんな普通で楽しい人たちです。怖いことは何もないので、10代のみなさんにもぜひ参加してほしいです。